




プログラム名	えだ枝ツンツン葉っぱっぱ						
対象年齢	年中・年長 (4~6歳)						
ねらい	メッセージ	・自然の循環(葉っぱが果たす役割)に気づこう					
	発見・体感できること	・枝や落ち葉の感触、におい ・新しい落ち葉、古い落ち葉、腐った落ち葉の違い ・森の暗さ、湿気、地面の感触、においなど					
参加者のめやす	幼児	10人×2グループ	/	支援者	2人		
実施時間	30分						
フィールド							
	森・社寺林・公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動			配慮・アドバイス アレンジ			
2分	「枝チーム」と「葉っぱチーム」の2チームにわかれる			チーム分けが楽しくできるよう、ジャンケンをする等工夫してみましょう。			
10分	それぞれ葉っぱや枝を拾って積み上げ、どちらが大きい山を作れるか競争する			葉っぱや枝を集める場所は、古い葉っぱや枝が落ちていような場所を前もって選んでおき、新しい落ち葉と見比べたりして違いを感じられるようにしましょう。			
							
3分	積み上げた山の上に乗る、踏みしめたり転がったりして、音や感触などを楽しむ			出来上がった山は、高さや容積を比べてどちらが大きい山か子どもたちに問いかけ、みんなで調べるようにしましょう。			
							



時間	活動	配慮・アドバイス アレンジ
----	----	---------------



3分 腐葉土を掘り、腐った葉っぱをさがす

7分 葉っぱが朽ちて土に変わっていく順に並べて、違いを見る

5分 落ち葉や枝がどのような役割をしているのか、自然の循環についての話をする

土に変わっていく過程の葉っぱを順に並べることで、自然の循環に気づきやすくなります。

**【豆知識】 落ち葉の役割**

落ち葉は、ミミズやダンゴムシなどの小さな生き物や、もっと小さくて目には見えないバクテリアなどのエサになります。そして、どんどん細かくされて(分解されて)いき、やがて土になります。その土から、また木や草が育っていきます。

**【異年齢への対応】**

年少：山の大きさ比べを行わずに、集めた葉の上に転がったり放り上げたりして遊びます。

**【園や家庭へ帰ってから】**

ミミズを育てて、落ち葉や残飯をエサとして与えてみましょう。葉っぱの役割から展開して土の中の分解者の役割や循環のサイクルを考えることにつながります。

葉っぱや木を持ち帰った場合は、それらを使って何か作ってみましょう。

準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白い布かタオル</li> <li>・スコップ</li> </ul>
---------	---

